

みしま



寄り添って
支え合って

問方地区でのサロン「いきいきクラブ」は12月22日、同地区集会所で行われ、9人の住民の皆さんが参加してボールゲームなどを楽しみました。(6,7ページに記事掲載)

2010

1

広報みしま No.202



文化財の保存・活用により 地区ごとに特色ある計画を

つ の だ い い ち 角田 伊一 議長

明けましておめでとうござい
ます。年末からの大雪で、
新年早々から苦勞の多い年
明けとなりましたが、町民の
皆さまには健康で希望に満ち
た新春をお迎えのことと心よ
りお喜び申し上げます。
昨年はわが国戦後政治史
上、まれに見る激動、大変革
の年でありました。半世紀に
及ぶ自民党支配の政治が終わ
り、民主党へ政権が移り、鳩
山内閣が誕生しました。
わが国の将来は、この政党
の手中に委ねられました。不
協和音も多く、今年の政界
は波乱含みの経過となりそう

です。しかし、民主党の政治
改革案「地域主権国家」は、
地域再生のためには有効な政
策として期待されておりま
す。この法案が成立すれば、
やる気のある自治体は特色あ
る町づくりを独自に進めるた
めの政策実行が可能となりま
す。今年はその意味での「地
方の時代」が訪れそうな予感
がします。
さて、わが町の現状は、昨
年の「百年に一度の危機」か
らわずかに脱した感はありま
すが、依然として厳しく、会
津若松市の大型誘致企業の不
振などの影響で、雇用環境が

著しく悪化しており、閉塞感
が漂っております。
町議会は雇用の場の確保、
企業の誘致、働く場の確保な
どを行政と一体となり推進中
で、今年度は地方交付税の増
額も期待できますので、有効
な利用を図るべく検討してま
いります。
今年「文化財総合的把握
モデル事業」の計画作りを進
め、町としての方針を文化庁
に提出する年でもあります。
地区ごとに特色のある計画や
事業を立案してほしいと思っ
ます。
また今年三島町に実質的

に光が入り、「光ファイバー
ケーブル導入によるブロード
バンド整備事業」が軌道に乗
ります。新年度予算には光ファ
イバーケーブルを利用した情
報通信整備や、平成23年7月
に切り替わる地上デジタル放
送をアナログ変換するための
事業などの関連予算が計上さ
れます。町議会は先進地研修
を行うなど、研究、検討を重
ねておるところであります。
何はともあれ、自然災害な
どの被害もなく、町民一同平
穩無事に過ごせる一年である
ことを念願し、年頭のあいさ
つといたします。

若者定住対策を最優先 経済対策、子育て支援、子ども教育

さ い と う し げ き 齋藤 茂樹 町長

明けましておめでとうござ
います。昨年は民主党政権の
誕生など、変革の年でありま
した。わが町としては、今年
度が期限となっている過疎地
域自立促進特別措置法と、「事
業仕分け」の対象にもなった
電源立地地域対策交付金の継
続を国に強く要望しておりま
す。また、これからはCO₂
削減、雇用対策、健康・医療、
食料問題などを柱に、地方か
らの「提案型」の事業が優先
される動きが見られます。小
さな町でも、工夫次第でモデ
ル的な町づくりが可能です。
役場内では若手職員のグ
ループ「CHANGE（チェ
ンジ）」が子育て支援につい

て検討を重ねるなど、若者が
住める町への変革を目指して
います。今後は若い世代に
もつと目を向け、若者定住対
策に軸足を置きながら諸事業
を実施していきます。
昨年のふるさと会津工人ま
つりには、約2万5千人が来
場しました。編み組細工、会
津桐、民俗行事など、三島に
は日本一のものがあります。
これらを守り育ててきた歴史
に自信を持ち、さらなる発展
に向けて行動する意識改革が
大切と考えます。
また、町民の皆さんによる
地区づくりの取り組みをサ
ポートしながら、町のいいも
のを活かし、経済活動にもつ

なげていきたいと思えます。
昨年からは奥会津5町村活性
化協議会と、只見川電源流域
振興協議会の会長をわたしが
務め、事務局が当町に置かれ
ています。昨年11月には5町
村とNPO法人ふるさと往来
クラブの連携により、東京都
内での移動販売車「奥会津フ
レッシュ便」が始まりました。
自給農業だからできる安
全でおいしい農産物が都民に
喜ばれています。経済対策は
近隣町村との連携が不可欠で
す。今後も徹底的な研究と事
業展開を図っていきます。ま
た、「紅葉が美しい鉄道路線」
の全国ランキング1位とな
り、乗車が増えているJR只

見線との連携も検討してい
ます。さらに、三島の顔であ
る「ふるさと荘」の経営改革
を行い、観光拠点としての再
生を図ります。
教育面では子どもたちの学
力向上を目指し、光ファイ
バーケーブルを活用した学習
なども検討していきます。
林業では、企業との連携に
よる会津桐の振興、杉間伐モ
デル事業などに取り組んでい
きます。
町民の気持ちを結集し、子
に孫に何を残していけるのか
追求していきましょう。最後
に、町民の皆さまの安全と健
康を願い、新年のあいさつと
いたします。





「完全給食」を実施していない三島小・三島中での昼食支援を検討するため「お弁当サポート推進委員会」が設置されました。第1回の委員会は12月15日に行われ、教育委員、PTA代表、教育委員会職員など13人が出席しました。委員長には五十嵐乃里枝さん（大谷）、副委員長には小柴謙さん（中平）が選任されました。

お弁当サポート推進委員会を設置 三島小、三島中の昼食支援を検討

教育委員とPTA代表、農産物生産者代表などで構成

子どもたちに温かいものを食べさせたい
子育て支援の一環として体制整備を目指す

せんでした。しかし、核家族や共働きが増える中で、給食の実施を願う声が高まっています。今年6月に子育て世代を対象に行ったアンケートでも、給食を要望する記入が多く見られます。

福島県内では、公立小学校535校のうち534校が完全給食を実施しており、牛乳のみを提供する「ミルク給食」は、三島小1校だけです。町では平成17年に完全給食の実施を検討しましたが、財源の確保が難しく断念した経緯があります。

北館長一教育長は「通常の完全給食は財政上、断念せざるを得ません。しかし、子どもたちのために保護者、地域、行政が協力して何とか支援したいと思っています。この委員会で決められたことが最優先されることとなります。見切り発車にならないようじっくり検討していきましょう」と話しました。

同委員会では今後、提供する献立、提供回数、調理の担い手、調理場所、経費負担など具体的な支援策の提案に向けた話し合いが行われます。



町民センターで行われた第1回お弁当サポート推進委員会



1



2

1 お弁当サポート推進委員会の委員長に選任された五十嵐乃里枝さん
2 昼食支援の基本方針を話す北館長一教育長



奥会津5町村の農産物などを東京都内で移動販売する取り組みがスタートしました。専用の軽トラックによる日本初のキャラバンショップ「奥会津フレッシュ便」です。NPO法人ふるさと往来クラブ（東京都千代田区）が奥会津5町村活性化協議会（三島町、柳津町、金山町、只見町、昭和村）と連携して始めたものです。フレッシュ便は同クラブ直営のサテライトショップ「ふるさと応援隊・合羽橋店」（東京・浅草）を発着とし、千代田区、新宿区、文京

奥会津の産品と情報を 軽トラで東京都民にお届け

キャラバンショップ「奥会津フレッシュ便」がスタート

NPO法人ふるさと往来クラブと奥会津5町村が連携
山村の元気再生を目指す日本初の試み

区、台東区などを巡回。奥会津の新鮮な農産物を消費者へ直接届け、同時に観光情報なども提供します。

出陣式は11月18日、合羽橋店で行われ、町村長など関係者約30人が参加しました。奥会津5町村活性化協議会長の齋藤茂樹町長は「過疎化が深刻な5町村ですが、安全でおいしい農産物があります。紅葉の美しい只見線もあります。それらの魅力をお届けし、奥会津を訪れるきっかけになってほしいと思います」と話しました。12月6日には道

の駅尾瀬街道みしま宿で「産直・こまなませ」の皆さんに対し説明会が行われ、翌7日に地元での出陣式が柳津町役場前において行われました。「奥会津フレッシュ便」には5町村で収穫された旬の農作物が並び、童謡「村祭」を流しながら都内を回ります。運転、販売を担当する小川智之さんは「奥会津のエピソードを伝え、生産者と消費者の距離を近づけたいです。スパーとは違う良さを生かし、顔が見える販売を目指します」と話します。また、同ク



1



2



3



4



5

1 軽トラックの移動販売車「奥会津フレッシュ便」。ガラス張りの陳列棚には旬の野菜や農産加工品などが並び
2 NPO法人ふるさと往来クラブの花澤治子事務局長
3 運転、販売を担当する小川智之さん
4 同クラブ直営サテライトショップ「ふるさと応援隊・合羽橋店」の木次紘芳店長
5 同クラブの古川猛副理事長。地域経済に関する雑誌「コロンブス」の編集長

ラブの花澤治子事務局長は「東京でもシャッター街が増え、買い物に不自由する高齢者も増えています。キャラバンショップによって都市と農村の両方を活性化させたいです」と話しています。

同クラブの古川猛副理事長は説明会で「1日10万円の売り上げを目指しています。お金が回らないとタイヤも回りません。奥会津の皆さんと消費者の心が通うような運営を目指し、ぜひ成功させましょう」と力を込めて生産者の協力を求めました。



—— 写真 ——
間方地区でのサロン
「いきいきクラブ」
(12月22日撮影)



誰でも、気軽に、無理なく、自由に、
みんなが集まり楽しい時間を過ごします。

地域ふれあいサロン

地域ふれあいサロンとは、歩いて行ける場所で行う地域の人々の交流の場です。軽い運動をしたり、ゲームをしたり、お茶を飲みながらおしゃべりしたりしながら楽しく過ごします。仲間の輪を広げ、高齢者の認知症予防や安否確認にもつながります。町内では、町が社会福祉協議会に委託して実施しているサロンや、自主開催のサロンが行われています。

SPECIAL EDITION
—— 新春特集 ——

住民が楽しみにしている
サロンの日

間方地区でのサロン「いきいきクラブ」が12月22日、間方集会所で行われ、9人の住民の皆さんが集まりました。このサロンでは軽い運動やゲーム、昼食会などが行われています。参加者の皆さんは月1回のサロンを楽しみにしています。長郷マサ子さんもその一人。

「みんなで集まるのが好きだから、毎回楽しみにしています。運動したりおしゃべりしたりすることで認知症の予

防にもなります」

このサロンでは社会福祉協議会が運営をサポートしています。この日はまず肩や首のストレッチ、膝や背中をさする運動、指の運動などを行いました。次第に体が温まり、雰囲気も和やかになっていきます。続いて行われたボールを回すゲームでは動きも軽やかにになり、笑顔があふれていました。最後にお弁当を食べ、談笑しながら楽しいひと時を過ごしました。久保田サク子さんは「みんなで食べるご飯はおいしいですね。一人で食べるのとはやっぱり違います。だからこの集まりがいつも楽しみです」と話していました。

一人暮らしの孤独を解消
サロンで住民を元気に

サロンは地域の交流の場として全国各地で行われています。三島町では自主的に開催されている「地域サロン」と、町が社会福祉協議会に委託している「ふれあいサロン」があり、総称して「地域ふれあいサロン」と呼んでいます。



社会福祉協議会の小松順太郎事務局長は「一人暮らしや二人暮らしの高齢者が集まることのできる場所として、地区の実情に合わせたサロンが行われています。今年度からは自主開催の地域サロンに対する助成制度も始め、安心して活動できるよう支援しています」と話しています。

サロンがもたらす
さまざまな効果

定期的にサロンを開催することで、その日が目標となり、生活にメリハリが出ます。また、特技や趣味を生かすことで社会参加の意欲を高めます。高齢者にとっては認知症予防や安否確認にもつながります。ボランティアスタッフや子どもたちとの世代間交流も期待できます。

サロンは自ら進んで参加する場であり、誰かに強制されるものではありません。参加しなかったからといって噂話をしたり、誰かの悪口を言ったりしないという約束事を守り、誰でも楽しく参加できるようにすることが大切です。

三島町社会福祉協議会が 全国社会福祉協議会長表彰

サロン活動の取り組みを評価

三島町社会福祉協議会は、「地域ふれあいサロン」の立ち上げ支援に向けた地域福祉活動講座の展開とサロン活動の取り組みが認められ、全国社会福祉協議会長表彰を受けました。表彰式は11月20日、東京・日比谷公会堂で開催された全国社会福祉大会の中で行われ、横田源一副会長（高清水）が表彰状と記念メダルを受け取りました。全国40社協が表彰され、福島県内では唯一の表彰です。

社会福祉協議会では、今後各地区でのサロンの立ち上げや、さらに充実したサロン活動などを支援していきます。詳しくはお気軽にお問い合わせください。

☎ 三島町社会福祉協議会
(52) 3344



地区	サロンの名称	開催	備考
高清水・小山	いきいきサロン	月1回	町が社協に委託
滝谷	和楽塾	月1回	町が社協に委託
大登	あすなろサロン	月1回	自主開催
松原	はつらつクラブ	月1回	自主開催(社協がサポート)
大谷	お達者塾	月2回	自主開催
間方	いきいきクラブ	月1回	自主開催(社協がサポート)
西方	ほがらかサロン	月1回	自主開催

蜜蝋キャンドルと
ミニオペラ公演で
楽しいひと時



蜜蝋キャンドル作りを体験する子どもたち

いまここネット主催 クリスマスイベント

「いまここプレゼント・ひとあしはやいクリスマス」は12月11日、町民センターで行われました。会場では「自然の恵み・蜜蝋キャンドル作り」が行われ、参加者は蜜蝋ができる過程などの説明を聞いた後、キャンドル作りを体験しました。また、山形大学でピアノと声楽を学んでいる鴨居妙さん、氏家知さん、宮入月子さんによるミニオペラ公演が開かれ、童謡などをアレンジしたすてきな演奏が会場に響きました。



町民センターで開かれたミニオペラ公演

子どもも大人も
フットサルで
真剣勝負！



全力でプレーする参加者

いまここネット主催 フットサル大会

フットサル大会は12月22日・23日、森の校舎カタクリ体育館で開催されました。6チームが参加してリーグ戦が行われ、熱いプレーが展開されました。

【大会結果】①こんにちは、こんにちは、こんにちは (4勝1敗) ②坂下高校 (3勝2分) ③ソースかつ680円 (2勝2敗1分) ④チームいまここ (2勝2敗1分) ⑤ちびっこチーム (1勝2敗2分) ⑥保護者チーム (5敗)



優勝した「こんにちは、こんにちは、こんにちは、ありがとう」

高齢者へ
真心込めた
お弁当を届ける



81歳以上の高齢者に届けられたお弁当

宮下地区の ひまわり会

宮下地区の女性ボランティアグループ「ひまわり会」は11月28日、同地区の81歳以上の方々約60人にお弁当を作り、自宅まで届けました。このサービスは「ひまわり会」が毎年実施しており、お弁当は無償で配られています。代表の酒井ハナヨさんは「真心を込めて作っています。皆さん毎年喜んで待っていてくださり、わたしたちもうれしくなります」と話していました。

(写真提供 / 酒井ハナヨさん)



宮下地区のボランティアグループ「ひまわり会」の皆さん

松原地区でそば会
地区の高齢者や
子どもたちが参加



おいしいそばを味わう家族

「ボランティア松原」と 「四季の会」の主催

松原地区で12月19日、そば会が開かれました。「ボランティア松原」と「四季の会」の主催により毎年行われています。会場の松原多目的集会所には高齢者や子どもたちなど約50人が集まり、おいしいそばを味わいました。同地区の海老名健さんは「そばを食べながら地区住民の交流を深めるとともに、高齢者世帯に気を配ることにもつながっていると思います」と話していました。

(写真提供 / 海老名健さん)



松原地区の皆さんが参加したそば会

飲酒運転
酒類、車の提供者
同乗者にも厳罰



チラシを配る交通安全母の会の
大竹祐子会長(左)

飲食店、旅館などに 飲酒運転根絶呼び掛け

三島町交通安全母の会、交通安全協会三島分会などの皆さんが12月18日、町内の飲食店や旅館などを回り、チラシなどを配って飲酒運転根絶を呼び掛けました。飲酒運転はドライバーだけでなく、車の提供者、酒類の提供者、同乗者も罰せられます。飲酒運転がもたらすものは、あまりにも悲しく理不尽な結末です。失ったものは二度と戻ってきません。飲酒運転は人間として最低、最悪の行為です。



雪の降る中、飲酒運転根絶活動を行った皆さん

台湾から来訪
生活工芸運動など
町づくりを視察



三島町を視察に訪れた台湾・
田中市長(右)

台湾・田中市長と 職員の皆さん

台湾・田中市の市長と職員の皆さん10人が12月13日、三島町を訪れました。一行は生活工芸館や桐加工場などを見学。桐加工場では、桐タンスの製造過程などについての説明を聞きました。また、伝統工芸士の五十嵐文吾さん(大登)の自宅・工房を訪れ、マタタビ細工に触れながら交流を深めました。翌14日は「てわっさの里みやした」の工房・ギャラリーを見て回り、三島町民の活動に感心していました。



生活工芸館を見学する台湾・
田中市職員の皆さん

農山村に移住した
体験談を聞き
活性化を考える



三島町に移住した経緯を語る
道田昌吾さん(宮下)

過疎中山間地域 活性化シンポジウム

会津地域過疎・中山間地域活性化シンポジウムは12月4日、交流センター山びこで開催されました。体験発表では平成11年に三島町に移住した道田昌吾さん(宮下)が「近所の方々がとても親切に何でも教えてくれました」と語りました。

そのほか、西会津ローカルフレンズの佐藤昭子さん(西会津町)、NPO法人芋麻倶楽部の五十嵐喜久男さん(昭和村)などが山村の活性化事例を発表しました。



交流センター山びこで開かれた
シンポジウム



みしまの出来事

身近な情報をお寄せください。☎(48)5515



町民センター図書コーナー「ゆめぼけつと」で読書を楽しむ子どもたち



4月からの三島保育所の入所申し込みを受け付けます。

●**保育の実施基準**
 児童の保護者のいずれもが次の各号のいずれかに該当することにより、当該児童を保育することができないと認められる場合であつて、かつ同居の親族とその他の者が当該児童を保育することができないと認められる場合に行うものとします。

① 居宅外で労働することを常態としていないこと。
 ② 居宅内で当該児童と離れて日常の家事以外の労働をすることを常態としていないこと。
 ③ 妊娠中または出産後間がないこと。
 ④ 疾病にかかり若しくは負傷し、または精神若しくは体に障害を有していること。

三島保育所 ◆入所のご案内◆

- 対象者**
 三島町に住所を有する小学校入学前の乳幼児（平成22年度に途中入所を予定されている方もお申し込みください。）
- 保育時間**
 午前8時30分～午後4時30分
 （土曜日は午前8時30分～午後0時30分）
 ただし特別な事情がある場合は、午前7時30分～午後6時
 （土曜日は午前7時30分～午後1時）
- 保育料**
 保育料はその世帯の保護者の前年度分の所得税額、または町民税額を基準として7段階に区分の上徴収します。
- 申込先**
 三島保育所または役場窓口
- 提出書類**
 保育所入所申込書および就労証明書（用紙は保育所および役場窓口で配布しています。）
- 入所申込締切**
 1月29日（金）
- 入所決定**
 入所の決定については、申込書の内容を審査後通知します。
- 三島保育所 ☎(48)55001
 教育委員会 ☎(48)5599



柳津町湯八木沢地区の桐林を見て回る参加者

会津桐を守れ

2回目の現地検討会

生産、流通、製品開発について考える

優良な会津桐を育てようと、会津桐振興現地検討会が12月3日、会津坂下町や柳津町で開催されました。桐生産者や桐加工業者など約40人が参加、三島町からも14人が参加し、生産から流通、新製品の開発など、今後の桐産業について考えました。三島町、喜多方市、西会津町、柳津町、金山町などでつくる会津キリ振興連絡協議会（会長・齋藤茂樹三島町長）と、福島県会津農林事務所の主催で、現地検討会は昨年に続いて2回目の開催です。

参加者は会津坂下町の齋藤桐材店会津坂下工場を視察した後、柳津町湯八木沢地区の桐林を見て回りました。続いて、やないづふれあい館で講話が行われました。全国桐材組合連合会の金子平三郎会長（柳津町）が「桐流通の現状について」、齋藤桐材店の齋藤洋一さんが「桐製品の新たな開発について」、県林業研究センターの長谷川孝則さんと県会津農林事務所の矢沢倉一さんが「桐試験地研究経過、桐ポット苗試験について」と題してそれぞれ講話しました。



齋藤桐材店会津坂下工場を視察する参加者

新しい年への期待と決意

福島県立宮下病院
板橋 邦宏 院長



昨年は国民の厳しい審判により政権交代が行われました。ここ20年ほど医療費抑制政策が断行され、医療費亡国論までささやかれる始末で、結果、医師不足や医師の偏在（都市やリスクの少ない診療科への集中）が起り、地域医療崩壊が叫ばれるようになりました。新政権は国の責任で行う欧州型の医療を目指しており、地域医療再生へ向けての政策転換が始まるようとしています。大いに期待したいものです。

宮下病院も、わたしが着任した昭和60年に廃止問題が起りましたが、その後25年間存続できたことは、何にもまして地域の皆さまの絶大なご支援によるものとあらためて感謝申し上げます。

変化には不安や混乱が伴うものですが、わが国の進むべき道筋がはっきりと見え、経済不況などの社会不安が増大しています。しかし、わたしたちには方向性が見えています。

◎宮下病院の将来（役割）

- ① これからも県立病院として存続します。
- ② 一般病院としての機能を持ち、救急や急性期の病に対応します。
- ③ 診療所への診療応援を継続し、地域の診療所や福祉施設との連携をより強固なものにします。
- ④ 会津若松市などの病院との連携により、専門外来の強化増設に向けて努力します。
- ⑤ 近い将来、回復期、リハビリなどの養療機能を持つ新設の病院づくりを目指します。

以上の方向性を見失うことなく、地域の皆さまから信頼され、安心していただける病院、時代の医療政策に翻弄されない医療を行うことのできる病院を目指したいと考えています。

優しさ、思いやり、そして自己責任を持っていただければ、人間社会は成り立ちません。わたしたち宮下病院もまた、心を新たに皆さまのお役に立てるよう頑張っけてまいります。本年も相変わらずご支援いただけるようお願い申し上げます。きっと良い年になりますようお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

本 町民センター図書コーナー ゆめぽけっと

〈本の紹介〉
 図書コーナー運営ボランティア
 北館 緑さん

●利用時間 月～土 9:00～21:00
 日・祝 9:00～17:00
 ●お休み 年末年始
 ●教育委員会 ☎(48)5599

新刊



中学生向け

ぼくらの七日間戦争

宗田理・著
 ポプラ社

夏休みを前にした1学期終業式の日。1年2組の男子生徒全員が姿を消した。いったいどこへ…。『ぼくら』シリーズ11巻。

一般向け

夜想曲集

カズオイシグロ・著
 土屋政雄・訳
 早川書房

芽の出ないサクソ奏者がセレブリティと過ごした数夜の顛末を回想する「夜想曲集」など5編を収録。人生の黄昏、若き日の野心など、かなえられなかった夢を描いた短編集です。

幼児向け

十二しのはじまり

小暮正夫・文 中村景児・絵
 世界文化社

今年は寅年。十二支の動物が決まった訳は？ 猫年がない理由は？

小学生向け

風の又三郎

宮沢賢治・原作
 ますむらひろし・著
 朝日ソノラマ

高田三郎は青空で風がどうと鳴る日に転校してきて、海が荒れているようにごんごんと風が鳴る日に去って行きました。宮沢賢治の「風の又三郎」を劇画化した本です。



これからの行事予定 town schedule

- 1月13日(水)
三島初市 10:00～ 役場前
- 1月14日(木)
民俗行事「鳥追い」 桧原地区・滝谷地区
- 1月15日(金)
民俗行事「サイノカミ」 各地区
※国の重要無形民俗文化財
- 1月24日(日)
冬季防火訓練 9:30～ 早戸地区
- 2月4日(木)
民生児童委員協議会定例会 13:30～ 福寿草

三島町社会福祉協議会
地域ふれあいサロン

高清水・小山いきいきサロン
1月12日(火)10:00～ 高清水集会所

滝谷和楽塾
1月21日(木)10:00～ 滝谷集会所

☎ 社会福祉協議会 ☎(52)3344

歳時記 萌の会

日めくりの薄さ気になる冬構え
夕紅葉町に一つの信号機
宮下 諸井 まよ子

背蒲団は放されまじと婆の言ふ
みずのとを皆で待ち侘び初炬燵
西方 小平 佳子

みんなで健康づくり《保健事業の予定》
☎ 役場 町民課 保健福祉係 ☎(48)5565

4カ月児健診
1月12日(火) 11:00～ 坂下厚生総合病院
2月 9日(火) 11:00～ 坂下厚生総合病院

機能訓練会
1月13日(水) 14:00～ 福寿草

ヘルスアップえいよう教室
1月14日(木) 13:30～ 町民センター

3歳児健診
1月20日(水) 13:00～ 柳津町・銀山荘

ヘルスアップうんどう教室
1月27日(水) 13:30～ 町民センター

足腰げんき教室(水中運動編)
1月28日(木) 13:00 町民センター集合
河東学園プール

足腰げんき教室(室内運動編)
2月 4日(木) 13:30～ 町民センター



ふるさと納税
町へのご寄附 ありがとうございます

丹野 光明 様
(東京都世田谷区・特別町民)

太田 忠 紘 様
(神奈川県横浜市・特別町民)

相羽 史 朗 様
(東京都江東区・滝谷出身)

ご寄附ありがとうございます
三島町社会福祉協議会へ

ご遺志によるもの

加藤 善 教 様 (宮下)
飯塚 光 義 様 (名入)

**2010 世界農林業センサス
ご協力をお願いします**

調査時期◎ 1月下旬～2月上旬

農林業センサスは、わが国の農林業の生産構造や就業構造、農山村地域の実態を明らかにすることを目的に5年ごとに実施している大切な調査です。農林業センサスには農林業の経営主にお聞きする「農林業経営体調査」と、市区町村や農業集落の代表者などにお聞きする「農山村地域調査」の2つの調査があります。

◎**農林業経営体調査**
農業や林業を行っている個人や法人などを対象とした調査で、県知事から任命された統計調査員が訪問し、調査対象となる条件を満たしているかお伺いします。調査の対象となった場合は調査票にご記入いただきます。

◎**農山村地域調査**
農業集落の代表者(区長)の方に地方農政局長等から任命された統計調査員がお伺いして調査を行います。

◎**調査結果の利用**
農林行政の企画・立案や中・長期的な国土利用計画、経済計画の策定、地方交付税の算出のための基礎資料として利用されます。

◎**プライバシーの保護**
統計法により調査内容を統計以外の目的に使用することが固く禁じられていますので、調査結果が税金の徴収に使われるようなことは一切ありません。また調査員には守秘義務があり、調査で知り得た情報が漏れることはありません。調査票は厳重に管理されます。

☎ 役場 総務課 企画財政係 ☎(48)5515

**会津大学短期大学部
科目等履修生および研究生募集**
会津大学短期大学部

会津大学短期大学部では平成22年度の科目等履修生および研究生を下記のとおり募集します。

◎**履修または研究内容**
産業情報(経営・デザイン)、食物栄養、社会福祉、教養基礎に関する科目または内容

◎**履修期間・研究期間**
①科目等履修生
半年または1年(履修科目による)
②研究生
1年以内

◎**募集人員**
若干名

◎**受付期間**
3月1日(月)～5日(金)
※5日の消印有効

◎**選考日時(科目等履修生)**
3月11日(木) 10:00～
場所/会津大学短期大学部

◎**選考方法**
①科目等履修生
書類審査および面接
②研究生
書類審査

☎ 会津大学短期大学部 ☎0242(37)2301
ホームページ
<http://www.jc.u-aizu.ac.jp>

1月の納税

●**町県民税(普通徴収) 第4期**
●**後期高齢者医療保険料(普通徴収) 第6期**

※納期限は2月1日です。
忘れずに納めましょう。

☎ 役場 町民課 町民生活係 ☎(48)5555

**福島県文化振興基金助成事業
申請受け付け**
福島県文化スポーツ局 文化振興課

県民の皆さんの文化活動を支援する(財)福島県文化振興基金では、平成22年度第1期分の助成申請を受け付けています。

◎**対象事業**
県内に住所または活動の本拠を有する個人・団体の行う文化活動

◎**対象時期**
4月1日～7月31日

◎**助成金額**
助成対象経費の3分の1または2分の1以内の額。ただし対象事業の区分により限度額があります。

◎**申込方法**
所定の申請書に記入の上、必要書類を添付し三島町教育委員会に提出してください。

◎**申込締切 2月8日(月)**
☎ 教育委員会 ☎(48)5599

**放送大学
4月生募集のお知らせ**
放送大学福島学習センター

放送大学では平成22年4月入学の学生を募集しています。放送大学はテレビなどを利用して授業を行う通信制の大学です。心理学、福祉、経済、歴史、文学、自然科学など幅広い分野を学ぶことができます。

◎**出願期間 2月28日まで**
※資料を無料で差し上げています。詳しくはお問い合わせください。

☎ 放送大学福島学習センター ☎024(921)7471

**三島町の人口と世帯
(12月1日現在)**

人口	2,096	-3	出生	2
男	983	-1	死亡	2
女	1,113	-2	転入	2
世帯	853	-1	転出	5

※住民基本台帳による数値です。



Pickup

25年目の「おばあちゃんの味」

子どもたちに地域で受け継がれてきた家庭料理の味を伝える「おばあちゃんの味」は12月15日、町民センターで行われました。老人クラブ女性部の皆さん19人が先生となり、三島小5年生が「五目ふかし」や「こづゆ」などの料理を体験しました。

この行事は昭和60年に始まり、今年で25年目。世代を超えて交流しながら、おばあちゃんから子どもたちへ昔からの家庭料理を伝えていきます。例年6月に三島小6年生、12月に5年生の「総合的な学習」の授業として行われています。

今回の主食「五目ふかし」に使われたもち米は、5年生が地域の方々の指導のもと栽培したものです。そのほか大根や人参、ごぼう、里芋、打ち豆などの食材は、老人クラブ女性部の皆さんが持ち寄ったものです。「おばあちゃんの味」には、地元で収穫されたものがたくさん使われます。

毎回参加している森田久美子さん（川井）は「この行事には子どもとの出会いがある」と話します。「地域に子どもが少なくなってきましたので、この行事で小学生と交流できることが楽しみです。昔から受け継がれてきた家庭料理

は、親が作らなければ子どもは食べることができないし、覚えることもできません。わたしの家では孫が手伝ってくれますよ。この行事に母親の世代も参加してくれたらよいと思います」

祖父母と同居していない家庭も多い現在では、子どもが「おばあちゃんの味」に触れる機会が少なくなっています。料理後の会食では、食べ慣れない味にはしが進まない子どももいました。いつも食べている母親の味と違うからです。

食の安全や栄養バランスの面でも、「地のもの」をたくさん使う昔ながらの料理から学ぶことは多いと思います。その知恵を伝えるためには、「祖母」から「母」への伝承が必要となっています。

馬場久子さん（大登）は「子どもたちが家に帰って、少しでも作ってみようと思ってくれればうれしいですね」と話します。料理をきっかけに家族の会話も弾むのではないのでしょうか。

地域の味を子どもたちに知ってほしいという願いから、25年間続けられてきた「おばあちゃんの味」。今年もおばあちゃんと楽しく料理をする子どもたちの笑顔がありました。



「おばあちゃんの味」献立

- 五目ふかし 材料/もち米、ごぼう、人参、椎茸、ひじき、油揚げ
- こづゆ 材料/里芋、人参、椎茸、きくらげ、系こん、貝柱、笹かま、ちくわ、まめぶ、なると
- 大根煮 材料/大根、人参、ごぼう、さつま揚げ、こんにゃく、昆布、煮干し、たけのこ
- せんばん 材料/大根、人参、打ち豆
- 白菜漬け 材料/白菜、きゅうり
- 茶巾絞り 材料/さつまいも、とうもろこし、スキムミルク



全国編み組工芸品展

◎ 作品募集 ◎

全国各地に受け継がれてきた竹や
蔓・草類・樹皮などの自然素材を材
料とした編み組細工を募集します。

◆ 開催期間

3月20日(土)～3月24日(水)

◆ 会場

交流センター山びこ「桐の里美術館」

◆ 応募方法

応募用紙に必要事項を記入し、作
品と一緒に送りください。

(応募用紙はホームページからもダ
ウンロードできます。)

<http://www.okuizumi-amikumi.jp/>

出品料 5千円 (何点でも応募可)

◆ 応募先

奥会津三島編組品振興協議会

〒969・7402 福島県大沼郡

三島町大字名人字諏訪ノ上395

(三島町生活工芸館内)

◆ 応募締切

3月4日(木)

◆ 賞

最高賞 **経済産業大臣賞**

(賞状と豪華副賞、その他各賞多数)

主催：奥会津三島編組品振興協議会

共催：三島町・三島町教育委員会

後援(予定)：経済産業省・林野庁・東

北経済産業局・福島県(財)伝統的工芸品

産業振興協会・福島民報社・福島民友新

聞社・NHK福島放送局・福島テレビ・

福島中央テレビ・福島放送・テレビユー

福島

〒0241(48)5502

三島町生活工芸館



木ざるを編む

ものづくりの冬

木ざる作り講習会が12月13日、生活工芸館で行われ、約20人が参加しました。久保田昭一さん(間方)、舟木信次さん(間方)が講師を務め、ウリハダカエデ、ヤマウルシ、ヤマブドウ蔓などを材料に用いた木ざる作りを実演しました。

雪が深い土地だからこそ受け継がれてきた冬のものづくり。暮らしていくための道具作り。「生活工芸運動」の原点です。